

「第 56 回おたる潮まつり」感染防止安全計画

令和 4 年 6 月 9 日 策定

※本計画は国や道の指針、感染状況等を踏まえ、適宜修正を行います

1.開催概要

イベント名	第 5 6 回おたる潮まつり	
開催日時	令和 4 年 7 月 22 日	(15 時 00 分 ~ 22 時 00 分)
	令和 4 年 7 月 23 日	(10 時 00 分 ~ 22 時 30 分)
	令和 4 年 7 月 24 日	(10 時 00 分 ~ 22 時 00 分)
主催者	おたる潮まつり実行委員会	
所在地	小樽市港町 4 番 3 号	
連絡先	0134-32-4111 内線 7267	
収容率 (上限)	<input type="checkbox"/> 収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> 収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	いずれかを選択 (いずれも大声がないことを担保)	
参加人数	1,000,000 人 (3 日間合計見込み)	
その他 特記事項		

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

2.当日の来場者およびスタッフへの具体的な対策

①来場するにあたっての事前の体調把握

<チェック項目>

- 以下の項目の当てはまる場合は来場を自粛してもらう（チラシやHPに前もって記載する）。
 - i. 当日に発熱した場合。
 - ii. 開催前3週間以内に、公的な機関によるPCR検査等で陽性と判定された場合。
 - iii. 開催前2週間以内に、新型コロナウイルス陽性と判定された方との濃厚接触がある場合。
 - iv. 開催前2週間以内に、同居家族や身近な知人に陽性者または感染が疑われる方がいる場合。

②飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

<チェック項目>

- 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスクの正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる
(※) 大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。
- マスクを持参していない者がいた場合は主催者側でマスクを渡し、着用率100%を担保する。

③手洗、手指・施設消毒の徹底

<チェック項目>

- こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（アルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）
- 主催者側による施設内（トイレ、喫煙所、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施
- アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ

④ 飲食の制限

<チェック項目>

- 各飲食店に感染対策リーフレットが設置してあるので、飲食時に内容を確認してもらおう
- 飲食中以外のマスク着用の推奨
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛（ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない）

3. 出店者の感染対策

※「第56回おたる潮まつり出店注意事項」に別途記載あり。以下抜粋。

- ① 代表者又は出店責任者は、出店期間中毎朝、出店者全員の健康状態を確認し、検温結果を出店者名簿に記録してください。37.5℃以上の発熱や倦怠感のある方、及び咳やのどの痛み等がある方は、出勤をお控えください。

出店者名簿には出店者全員の氏名、住所、電話番号及び出店期間中の検温結果を記載し、また、出店者全員の新型コロナウイルスワクチン3回接種がわかるものの写しまたは潮まつり開催前1週間以内のPCR検査陰性証明の写しを添付してください。

出店者名簿の様式は任意で原則提出は不要ですが、新型コロナウイルス等が発生した場合、名簿の提出を求める場合がありますので、開催期間中及び終了後1週間はいづれでも提出できるようにしてください。

- ② 出店者はマスクまたはフェイスシールド等を着用してください。
- ③ 出店スペース前にベンチを設置する場合、ベンチ間の間隔を前後左右最低1m以上確保してください。また、店内に「感染症対策リーフレット」を掲示し、感染防止対策の周知に協力してください。
- ④ 出店者はアルコール消毒液を用意し、来店者が消毒できるようにレジ付近に設置してください（費用は出店者負担）。

- ⑤ 大声による客引きは控えてください。
- ⑥ チラシ等を配る場合は、極力手渡しでの配布を避け、机等に置くなどの対応を心掛けてください。

4.ねりこみ参加者の感染対策

※「ねりこみ募集要項」に別途記載あり。以下抜粋。

- ・リーダーまたはサブリーダーは、ねりこみ当日の朝、参加者全員の健康状態を確認し、検温結果をねりこみ参加者名簿に記録してください。
ねりこみ参加者名簿には、参加者全員の氏名、住所、電話番号、検温結果を記載していただきます。原則提出は不要ですが、新型コロナウイルス等が発生した場合、名簿の提出を求める場合がありますので、終了後1週間はいつでも提出できるようにしてください。
- ・参加者に以下の状態の方が居る場合は、参加を辞退するようお伝えください。
 - ・当日、37.5℃以上の発熱や倦怠感のある方
 - ・当日、咳やのどの痛み等がある方
 - ・3週間以内に、公的な機関によるPCR検査等で陽性と判定された方
 - ・2週間以内に、同居家族や身近な知人に陽性者または感染が疑われる方が居る方
- ・原則、マスク着用してください。ただし、夏場の暑い時期のため、熱中症になるリスクが高い時間帯に出場する梯団は、スタート後、参加者同士の前後左右2メートル以上の距離を確保した状態で、マスクを外すことを可能とします。スタート前の待機時間及び、ステージを踊り抜けた後は速やかにマスクを着用してください。
- ・かけ声など、大声を出す行為はご遠慮ください。
- ・水分補給時は、周りに人が居ない状態で行ってください。また、参加前及び参加中のアルコールの摂取は、熱中症のリスクが高まるためお控えください。
- ・参加当日だけではなく、練習中や参加後についても感染対策を心がけて行動してください。

「ねりこみ募集要項」の記載事項及び実行委員会の指示に従わない梯団が見受けられた場合は、「潮ねりこみ」の中断・中止をする場合もありますのでご注意ください。

5.スタッフの準備期間中における感染対策

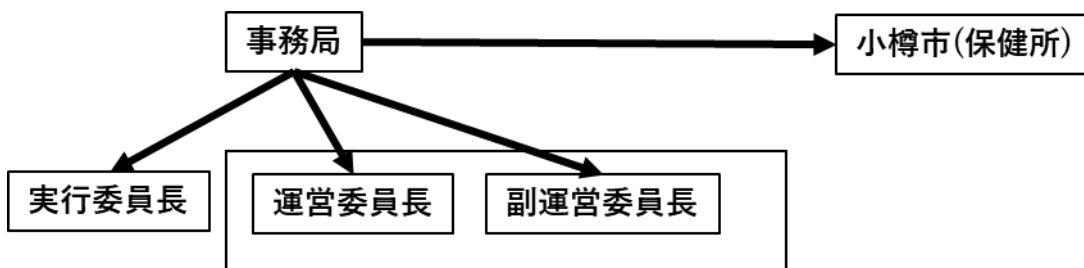
<チェック項目>

- 健康管理チェックリストを作成する。開催 3 日前より毎日その日の体調をチェックし、少しでも体調が悪いと判断出来た場合は自宅待機とする。
- 家族が感染した場合のスタッフの感染リスクを考え、その家族にも感染対策を徹底する。
- 事務所等に入る際はマスクや手指の消毒を徹底し、会場設営等で共同作業をする際も、スタッフ同士が適切な距離（おおむね 2m、最低 1m）を保ち、大声での会話を極力控える。
- 本部事務所等の共用備品について、定期的に多頻度接触面をアルコール消毒する。

6.感染疑い・発生時の連絡体制等

(1)感染疑い・感染者が発生時の連絡体制

- ・スタッフ、来場者問わず、感染疑い、感染者が発生した場合、スタッフは事務局に報告する。
 - ・事務局は以下のチャートにより、実行委員長以下に報告を行うとともに、保健所と連絡調整し指示を受ける。
- ※保健所への連絡については保健所非経由で事務局に報告があった場合行うもの。
- ※陽性患者が発生した際等の対応については適宜実行委員長及び正副運営委員長らで協議する。



(2)感染疑い・発生時連絡先

○事務局(小樽市観光振興室) : 0134-32-4111(内線 7267)

○小樽市保健所 : 0134-22-3117

※保健所への連絡は基本的に事務局経由で行います。

○小樽発熱者検査センター : 0120-510-010

※発熱疑い者はかかりつけ医療機関を受診し、主治医が PCR 検査等を要すると判断した場合、専門機関で検査を受けます。かかりつけの医療機関がない方はこちらにご相談ください。